

各位

2018年9月19日

公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 福島～
子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人福島県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 福島～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 福島」開催概要

日時： 2018年11月10日（土）13:30～16:40

場所： 郡山市 郡山商工会議所
郡山市清水台 1-3-8

参加費： 無料（先着 250 名）

プログラム概要：

- 報告： 「県民健康調査『妊産婦に関する調査』報告」
講師：藤森 敬也（公立大学法人福島県立医科大学 医学部 産科婦人科学講座 教授／放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室 室長）
- 基調講演： 「少子高齢化社会における産後ケアの重要性」
座長：平川 俊夫（日本医師会常任理事）
講師：吉村 泰典（慶応義塾大学名誉教授／福島県立医科大学副学長／新百合ヶ丘総合病院名誉院長／少子化対策、子育て支援担当内閣官房参与）
- シンポジウム： 1 「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）
2 「妊娠期からの虐待予防～虐待死ゼロを目指して～」
奥山 眞紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長）
3 「郡山市における子育て世代包括支援センター事業の取り組み」
滝田 昌宏（郡山市こども部こども支援課長）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 福島～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

http://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/005325.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

.....

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援
フォーラム
.....
in 福島

子育て支援とゼロ歳児からの 虐待防止を目指して

命も心も 守りたい。

岩永 雄
2018年度 オレンジリボン
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。
特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、
虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、
その発生を予防する取り組みが必要です。

そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め、社会全体で取り組む必要があります。
次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、
児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

日時

平成30年 11月10日(土) 13:30-16:40

場所

郡山市 郡山商工会議所

※事前のお申し込みで
託児施設がご利用いただけます。
[託児申込締切: 11月2日(金)まで]

参加費 無料

先着 250名

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
一般社団法人福島県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、福島県、福島県教育委員会、郡山市、福島県歯科医師会、福島県薬剤師会、福島県看護協会、福島県助産師会、福島県産婦人科医会、福島県小児科医会、福島県精神医学会、福島県保育協議会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会

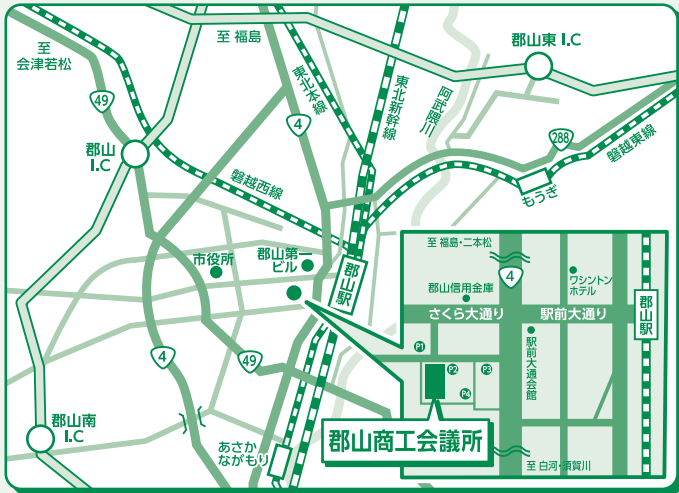
参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 福島 ～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～

日時:平成30年11月10日(土)
13:30～16:40

場所:郡山市 郡山商工会議所
〒963-8005 郡山市清水台1-3-8
TEL:024-921-2600

- ◆電車…「郡山駅」下車、中央口(西口)より徒歩10分
 - ◆車……東北自動車道「郡山南I.C」より約20分、「郡山I.C」より約15分
磐越自動車道「郡山東I.C」より約25分
- ※駐車場につきましては近隣の有料駐車場をご利用ください。



プログラム

司会:新妻 和雄(福島県医師会常任理事)

1. 開 会 13:30
2. 挨拶 13:30～13:40
横倉 義武(日本医師会会長)、佐藤 武寿(福島県医師会会長)
3. 報 告 13:40～14:00
藤森 敬也(公立大学法人福島県立医科大学 医学部 産科婦人科学講座 教授/
放射線医学県民健康管理センター 妊産婦調査室 室長)
「県民健康調査「妊産婦に関する調査」報告」
4. 基調講演 14:00～15:00
座 長:平川 俊夫(日本医師会常任理事)
講 師:吉村 泰典(慶応義塾大学名誉教授/福島県立医科大学副学長/
新百合ヶ丘総合病院名誉院長/少子化対策、子育て支援担当内閣官房参与)
「少子高齢化社会における産後ケアの重要性」
5. シンポジウム 15:00～16:00
座 長:本田 任(福島県産婦人科医会会長)、竹内 真弓(福島県小児科医会会長)
(1)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
(2)奥山 真紀子(国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長)
「妊娠期からの虐待予防～虐待死ゼロを目指して～」
(3)滝田 昌宏(郡山市こども部こども支援課長)
「郡山市における子育て世代包括支援センター事業の取り組み」
6. 総合討論 16:10～16:35
7. 閉 会 16:35～16:40
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成30年11月2日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
参加票の発送をもって代えさせていただきます。(11月上旬頃)
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒960-8575 福島市新町4番22号
福島県医師会

FAX 024-521-3156

E-mail gyomu@fukushima.med.or.jp

HP http://www.fukushima.med.or.jp/

お問い合わせ/024-522-5191(福島県医師会)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 福島

子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

(平成30年11月10日(土)開催)

住 所	〒	—			託児施設のご利用 有・無
					託児人数 / 託児年齢
氏 名		電話番号	—	—	男児 人 / 才 ヶ月
		FAX	—	—	女児 人 / 才 ヶ月
住 所	〒	—			託児施設のご利用 有・無
					託児人数 / 託児年齢
氏 名		電話番号	—	—	男児 人 / 才 ヶ月
		FAX	—	—	女児 人 / 才 ヶ月

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 024-521-3156 ↓